

## 公の施設のあり方検討結果個表

施設の名称	観音山ファミリーパーク		
所在地	高崎市寺尾町1064-30		
所管部局・課	県土整備部都市整備課	現在の運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者
担当係	公園緑地係	内線	3663

### 1 施設の設置根拠(法律、条例等)

都市公園法、群馬県立公園条例

### 2 施設の役割

#### (1) 設置目的

都市住民が家族で自然にふれあい、また広域的な余暇活動へのニーズに対応するため、「豊かな自然の息づく夢とやすらぎのある森の公園」をテーマに、県民参加型の公園として設置している。

#### (2) 設置当初の状況

「県民参加型公園づくり」の実践の場として、公園建設時から地域住民との協働により整備計画を作成。

開園後もNPO法人に一部管理を委託し、平成18年度からは同NPO法人が指定管理者となり管理を

#### (3) 施設を取り巻く現状

市街地から距離がありアクセス面で恵まれていないが、指定管理者の自主事業による公園の広報活動等により県外からの来園者が多くなっている。

令和2年度においてPark-PFI事業によりカフェ(HYGGGE TIMS)が開業。令和6年度現在はPark-PFIの更なる導入に向け、トライアル・サウンディングを実施中である。

### 3 施設の概要

設置年月日	平成15年5月(一部供用開始)、平成18年4月(全面供用開始)
敷地面積(所有者)	60.3ha (群馬県)
主な施設(床面積、階数等)	サービスセンター(676.5m <sup>2</sup> )、クラフト工房(399.4m <sup>2</sup> )
建設費	約9,480,000千円
備考	

#### ◇入園料・利用料等 (円)

#### ◇利用時間(休館日)

区分	金額	利用時間
一般	無料	・夏期(4月～9月)    午前8時00分～午後5時30分 ・冬期(10月～3月)    午前8時00分～午後5時00分
大学生・高校生		※ただし、12月29日～翌年1月3日までの間は休園

### 4 施設における実施事業

#### 【自主事業】

- ・県民ユニット活動事業
- ・0-3ファミリーくらぶ(0~3歳の子をもつ家族の教室)
- ・4-6キッズくらぶ(4~6歳児向けの教室)
- ・観音山ファミリーパーク杯(U-9)少年サッカー大会
- ・とりかえっこ(家庭で不要になったものを譲りたい人と欲しい人が繋がれる場)
- ・県民参加フェスタ(県民参加の公園作りを推進するため、県民自らが主体となって開催されるイベント)等

## 5 管理運営コストの状況

(単位:千円)

区 分	令和6年度(当初予算額)	令和5年度(決算額)	令和4年度(決算額)	令和3年度(決算額)	令和2年度(決算額)
歳 入(①)	1,840	1,855	1,853	953	467
使用料	630	645	643	650	467
雑入(公共施設命名権収入)	1,210	1,210	1,210	303	0
歳 出(②)	152,443	89,533	76,200	93,838	81,095
指定管理料	67,443	67,443	67,443	67,443	66,655
修繕費	85,000	22,090	8,757	26,395	14,440
歳入・歳出の差額(①-②)	-150,603	-87,678	-74,347	-92,885	-80,628
歳入・歳出の主な増減理由	開園から20年を経過し、老朽化のための対策工事が多くなってきている。 R6:長寿命化対策(トイレ屋根更新予定 3箇所) R5:長寿命化対策(噴水設備更新) R3:藤棚更新工事				

## ◇指定管理者の収支状況(指定管理業務に係る部分のみ)

(千円)

区 分	令和6年度(当初計画額)	令和5年度(決算額)	令和4年度(決算額)	令和3年度(決算額)	令和2年度(決算額)
収 入(①)	74,297	77,286	78,123	74,797	76,830
指定管理料	67,443	67,443	67,443	67,443	66,655
利用料収入	1,500	1,974	839	608	439
その他(雑収入)	550	759	1,022	561	550
繰入金	0	1,700	1,725	852	3,187
自主事業収入	4,804	5,155	5,079	5,333	5,999
物価高騰対策支援金	0	255	2,015	0	0
支 出(②)	74,297	77,286	78,123	74,797	76,830
人件費	40,840	39,906	38,414	37,330	36,956
維持管理費	16,200	17,467	19,285	18,241	17,659
事務費	3,130	3,231	3,260	2,647	2,209
修繕費(営繕費)	3,300	5,162	5,443	5,225	7,661
租税公課	3,803	3,979	4,464	3,778	3,589
その他	2,220	2,386	2,178	2,243	2,758
自主事業費	4,804	5,155	5,079	5,333	5,998
収支(①-②)	0	0	0	0	0
歳入・歳出の差額、収支の主な増減理由	・人件費は最低賃金上昇に伴い、R2とR5決算を比較すると、約300万円増加 ・収入不足分を繰入金(正味財産・自主事業収益)により補填し、収支バランスを確保している ・R5年度の利用料金収入増は、ぐんまフラワーパークで実施されていたイベントが、休園期間中のみ当公園で実施することになった事に伴う増				

## 6 職員の状況(各年度4月1日現在)

(人)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
常勤職員	0	0	0	0	0
非常勤職員	30	30	30	34	30
合計	30	30	30	34	30

## 7 施設利用の状況

区 分	令和6年度※1	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
年間利用者総数(人)	154,558	399,096	367,155	324,268	295,470
有料利用者数(人)	—	—	—	—	—
無料利用者数(人)	154,558	399,096	367,155	324,268	295,470
目標利用者数(人)※2	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000
施設稼働率(%)※3	—	—	—	—	—
稼働率対象施設(設備)					
利用者の主な増減理由	新型コロナウイルス感染拡大時には行動制限などもあり公園利用者が減少したが、令和4年度からの制限緩和に伴い、感染拡大前の利用者数に戻りつつある。				

※1 見込数又は途中実績を記入

※2 目標利用者数を設定していない場合は無記入

※3 施設稼働率の概念が当てはまらない施設は無記入

## 8 必要性及び管理運営方法についての方向性

区 分	内 容
施設の必要性	<p>・県立都市公園は一つの市町村を越えた地方生活圏域等の広域的な利用者を対象として、総合的に判断し配置するとともに、広域的な集客が図れる施設を設置する。具体的には、県内最高規格の運動施設を有する運動公園(敷島公園)、家族がふれあえる最大級の多目的広場や遊具を有する公園(金山総合公園・観音山ファミリーパーク)、県を代表する芸術や歴史、自然を楽しむための公園(群馬の森・多々良沼公園)を県が設置・管理している。</p> <p>・観音山ファミリーパークは、家族のふれ合いや親同士の交流など、乳幼児から高齢者までが楽しめる公園として、多くの県民から利用されており、県の施設としてこのまま存続させる必要がある。</p>
業務等の見直し	<p>・現在の指定管理者制度を活用した維持管理に関して、指定管理者評価委員会及び利用者アンケート結果からも良好な評価を得ていることなどから、引き続き、指定管理者制度を活用した効率的な維持管理を行うことで、公園管理水準の維持・向上を図ることが出来る。</p> <p>・しかし、物価高騰や最低賃金の上昇などにより、維持管理費が増大していく中、指定管理者の収入増加のための利用料の導入検討を行うほかに、5年間の指定管理期間内に発生しうる、不測の事態に対応するための仕組みについて、全庁的に検討する必要がある。</p>